

設立50年の節目の年 現役のサハリン事業もサポート

わがLOMの
シニアクラブ

稚内JC [北海道]

日本の最北端に位置する稚内市は、宗谷海峡を挟んで東はオホーツク海、西は日本海に面し、宗谷岬からわずか43kmの地にサハリン(旧樺太)の島影を望む国境のまちです。

近年、国際交流が進展していく中で、ロシア連邦をはじめとする北方圏諸国への玄関口としても脚光を浴びています。また、水産、酪農、観光を基幹産業とする宗谷地方の行政、経済の中心地でもあります。特に観光では、季節によってさまざまに変化する豊かな大自然とともに、北海道遺産に指定され古代ローマの建築物を思わせるような回廊(北防波堤ドーム)や、宗谷岬の背後に広がる氷河期からの贈り物といわれる宗谷丘陵の不思議な周氷河期地形等があります。

一度稚内に足を運んでいただきたいと思えます。

稚内 JCシニアクラブは、現在161名のメンバーを有し、メンバー間の親睦や情報交換を目的に活動しております。当クラブの組織編制は現役JC同様に単年度制で、1年ごとに役員改選を行い、今年度は会長をはじめ、卒業年度別に各期から選任された代表幹事を含め、総勢31名の役員構成となっております。

現役との交流事業としては、合同新年交例会が1月に行われました。本会では現役が今年度行う事業について、理事長がシニアメンバーの前で熱弁を振るう場であり、また支援のお願いの場でもあります。

4月には、現役とシニアクラブとで1年おきに持ち回りで担当するOB・現役懇親会を開催しました。今回は

シニアクラブが担当し、2人目の喜寿を迎えたメンバーのお祝いを行いました。その他には、家族同伴による交流事業として野遊会・年末家族パーティーを計画しております。

2005年度は、現役メンバーにとっても、シニアクラブにとっても、特別な年です。1955年の稚内JC設立から50年を迎えた節目の年です。6月には記念式典が開催され、懐かしい50年の歴史の映像を見てメンバーそれぞれに感慨深い思い出が蘇りました。

9月には、サハリンで総事業費約1000万円をかけて現役メンバーが事業を行いました。シニアクラブは最大限のアドバイスと経済的支援でサポートしました。

稚内JCシニア・クラブ

幹事長 草地孝也



上から50周年記念懇親会で波間シニアクラブ会長が乾杯、50周年記念式典でサハリン州ユジノJCと交流、松野先輩喜寿祝賀会、創立50周年記念道州制フォーラム